

V-JET協会の「持続可能な開発目標」

V-JET協会は「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、SDGsの達成に向けた取組みを行っていく事を宣言します
2022年10月1日



| マテリアリティ (重要課題) | 関わりのある SDGs | アクションプラン (取り組み事項) | KPI(重要業績評価指標) | | 期間目安 | |
|--------------------------------|----------------|---|---|---|-------|-------|
| | | | 計画 | 目標 | 2025年 | 2030年 |
| 人々の安心・安全な生活基盤 | | 地震・台風・豪雨・土砂災害・津波・洪水など自然災害が多い我が国において、未来につなげる安全・安心な生活基盤づくりに向けて、道路・河川・港湾・空港等の基幹インフラの整備や維持管理事業にスピーディに取り組む、防災・減災・国土強靱化に貢献していきます。 | <ul style="list-style-type: none"> 防災・減災技術の普及推進 基幹インフラ長寿化に向けた補修補強事業の貢献度増 防災事業に役立つ新規用途開発および提案 防災に関する実績の共有、用途検討会実施 | <ul style="list-style-type: none"> 発注者、設計コンサル、ゼネコンに対するPR 年2回以上 目標値の策定、実行 開発目標の立案、実行 実績の抽出、選定 | → | → |
| ICTを活用した技術革新 継続的な技術発展への取り組み | | 地盤中でイメージしづらかった改良体の出来形を視覚的に解析・管理する「JWMシステム」や、地盤改良施工時の深度や改良状況を効率よく管理する「施工管理装置」など、ICT技術を有効的に活用し様々な取り組みを行っていきます。また、継続的に技術開発・技術研修等を行い技術の向上・技術者のスキルアップを図っていきます。 | <ul style="list-style-type: none"> ICT技術の普及推進 省人化・省力化に向けた技術開発 技術研修、講習会等の開催 オンデマンド資料等の教育教材の作成、整備 施工におけるポイントのとりまとめ | <ul style="list-style-type: none"> 技術展等に出展、学会や専門紙等に外部発表等 年2件以上 開発目標の立案、実行 制度の確立、開始 具体策の検討、開始 要素の抽出、数値化 | → | → |
| 環境負荷低減への取り組み | | 高効率施工による排泥発生量の削減、高速施工によるCO2排出量の削減などによる環境負荷低減のほか、重金属や汚染物質の固化・封じ込めにより、安全で安心な環境を作る取り組みを行っていきます。 | <ul style="list-style-type: none"> 施工土量あたりのCO2排出量の削減 CO2排出要素のリストアップ 環境修復事業への貢献度増 排泥再利用、排泥発生量の削減に向けた技術開発 リサイクル材料や環境負荷低減材料等の使用検討 | <ul style="list-style-type: none"> 排出ガス対策型建設機械の使用推進 要素の抽出、数値化 目標値の策定、実行 開発目標の立案、実行 市場調査、適用検討 | → | → |